

令和元年度第1回あきる野市図書館協議会 会議録（抄録）

- 1 日時 令和元年6月18日火曜日 午後3時
- 2 会場 中央図書館2階会議室
- 3 出席者 委員：佐野委員、伊藤委員、三池委員、三神委員、宮崎委員、中島委員
木下委員
職員：松島生涯学習担当部長、紺藤図書館長
庶務係長、中央図書館係長、五日市図書館係長

4 議事

- (1) 平成30年度図書館活動について
(2) あきる野市図書館基本的運営方針策定に関する市民意識調査について
(3) その他

開会 <図書館長> 午後2時54分

挨拶 <議長>
<生涯学習担当部長>

議事 <議長進行>

(1) 平成30年度図書館活動について

事務局説明（庶務係長）

「資料1 あきる野市図書館活動指標」により、平成30年度の図書館活動の実績について説明

質疑

委員 登録者数については、有効登録者で行うということですが、期限を過ぎたデータを削除して統計として問題はないのか。

事務局 利用者登録の有効期間は3年間と規定されています。継続して利用し、更新していれば有効登録者になります。

有効期限が過ぎた場合でも、利用すれば更新し、有効期限もそこから新たに

カウントします。

委員 子どもたちの動向、増えたのか減ったのか把握ができるのか

事務局 貸出冊数に制限がないため、1枚のカードで家族全員分の貸出ができてしまうため、母親のカードで子どもと一緒に借りていくこともあります。このため、登録者数や登録率が実態を写す指標となり得ているのかは難しい。

委員 図書館を継続的に利用してほしいという意味で統計的な裏付けがあればと思う。

(2) あきる野市図書館基本的運営方針策定に関する市民意識調査について

事務局説明（図書館長）

「資料2 アンケート調査票（案）」をもとに、説明

- ・「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が平成24年12月に改定され、図書館は基本的運営方針の策定と公表、目標設定、点検及び評価の実施に努めるものと規定された
- ・本市では「あきる野市教育基本計画」「あきる野市生涯学習推進計画」を策定し、図書館ではこれらの上位計画に基づいて事業を行っている
- ・教育委員会で事業の進捗状況の点検評価を実施している
- ・「あきる野市教育基本計画」「あきる野市生涯学習推進計画」は令和2年度までの計画なので、これらの改定に合わせて策定したい
- ・アンケート調査は基本的運営方針を策定するにあたり市民ニーズや現状、課題の把握のために実施する

質疑

委員 以前に「図書館基本計画」と聞いていたものとは違うのか。

事務局 基本的には同様です。図書館の事業計画にも基本理念や施策目標重点事業を明記してあります。上位計画など市の方針に沿って策定していくこととなります。

委員 検討する会議体はどのように考えているのか。

事務局 基本的な運営方針であり、図書館で原案を作成します。子ども読書活動推進会議や学校図書館連絡会などの意見も聞きながら進めます。

委員 年令区分について、20歳から69歳までは10歳刻みで、最後は70歳以上となっているが、もう少し細かくした方が良いのでは。

事務局 年令区分は市民アンケートに準拠して作成しましたが、図書館は高齢の利用者も多いことから70歳～79歳、80歳以上の区分を追加します。

- 委員 回答の選択肢として「その他」を入れることはできないか。
- 事務局 「その他」の項目を追加すると、集計の分析が曖昧になってしまいますので、「その他」の追加は考えていません。
- 委員 イベントや講座に関する設問があるが、施設の貸出をするのか。
- 事務局 この調査は、基本的運営方針にかかるアンケートで、要望をお聞きするものではありません。施設の貸出は東部図書館エルのみ対応していますので、ここは検討します。
- 委員 「その他」という項目があると、すべて「その他」を選択してしまう人もいる。また集計の傾向の分析にも支障がある。展示スペースや施設の貸出要望についても自由意見欄があれば、そこで吸い上げができるのではないか。
- 委員 以前にもこのような調査は実施しているのか。
- 事務局 平成16年に図書館整備計画の策定の際に実施しています。
- 委員 毎年、来館者に対するアンケートを行っているが、このアンケートを来館者アンケートとして実施する考えはないか。
- 事務局 来館者アンケートは実際に図書館を利用している方を対象にしています。今回のアンケートは普段図書館を利用していない方も含めて広く市民を対象としていますので、来館者アンケートとしての実施は考えていません。
- 委員 来館者アンケートの結果は、基本的運営方針に反映されないのか。
- 事務局 来館者アンケートは基本的に同じ項目で毎年実施することによって、利用状況の変化や傾向を計ることが目的ですが、現状の分析や要望などについては、反映させたいと考えています。
- 委員 回答はどのように行うのか。
- 事務局 受取人払いの返信用封筒のほか、図書館の返却ポスト投函も可と考えています。
- 事務局 重要度や必要度に関する項目では、中の数字を選択せずに項目を選んでしまうことも考えられるので、設問を修正します。また、サービスと施設について混在している設問、図書館の利用目的に関する設問についても内容が偏っているので、修正します。
- 委員 選択肢が全項目か一項目か、など明確に表記するとわかりやすいと思う。
- 事務局 数字を選択するよう記述を修正します。
- 委員 施設のスペースについて重ねて聞いているが、これは同じものではないか。
- 事務局 ひとつはサービス、他方は施設という面からの設問となっています。
- 委員 蔵書の量や買い物のついで、という要因も多いと思う。
- 委員 コピー機が置いてあるというのはどうか。増戸会館にもある。
- 委員 施設が使いやすいという項目に含まれるのではないか。

委員 施設が使いやすいという項目に色々な状況が入るということで了解した。
議長 ここで出た意見を踏まえて、事務局で再度作成願いたい。
事務局 いただいた意見を反映させ、再度作成します。確認いただき、調整して8月中には決定したいと考えています。

(3) その他

委員 前回、文書で依頼した件は、どうなったのか。
事務局 1点目は市内小学校の朝読書の実態調査の依頼、2点目はその結果を踏まえて図書館としての支援の要請、3点目が読み聞かせ及びストーリーテリングの実習を伴った連続養成講座の実施ということでした。
朝読の調査ですが、全庁的に教職員の働き方改革に取り組んでいる中で新たな調査を行うのは難しい。また、学校全体としては学力向上の取り組みとして実施しているようです。なお、平成19年度の調査で小学校12校中10校、中学校6校のうち5校で実施しています。
次に学校への支援の要望ですが、現在、学校図書館支援事業で年3回学校図書館担当教諭や図書館補助員の方と連絡会議を実施しています。この中で情報交換やアドバイスなどを行っています。読み聞かせの講座については都度実施しております。限られた予算の中で多くの事業がありますので、全体を勘案しながら実施して行きます。

委員 学校の読み聞かせのボランティアの方にも図書館が読み聞かせにおすすめする本を積極的に紹介してください。

委員 学校教育については学校の先生が専門家として責任を持って臨んでいる。

委員 ボランティアの方も個人的な思い入れで本を選んでも良いと思う。

委員 基本的な本を踏まえた上で、本を読むことがより効果的。

委員 昨年、読み聞かせのボランティア講座があったが、参加者の状況は。
事務局 参加者は15人でした。

委員 せっかくの活動ですのでPRや周知を工夫し充実させて欲しい。

委員 家読の事業と昨年から始めたぶっくくらの状況は。
事務局 今年度のぶっくくらは夏休みに3回実施予定です。内容は、本の好きな子も苦手な子も参加しやすいようアニメーションを取り入れます。学年別のおすすめ本の紹介も計画中です。昨年度の参加は4人でした。
家読については、県をあげて取り組んでいるところもありますがブックリストの作成が中心のようです。今年度中に親子で、家庭で読むと会話が広がる本のブックリストを作る予定です。

委 員 図書の寄贈の状況は。

事務局 個人からの寄贈については、寄贈の基準に基づいて受け入れ、図書館の蔵書にできるものは登録し、それ以外の図書のうち、汚れなどないものはリユースコーナーで市民に提供しています。

議 長 他に無いようですので、議事は以上で終了とします。

委 員 PRです。6月29日に大人のためのおはなし会を実施しますので、興味のある方は是非ご参加ください。

閉会 <館長> 午後4時58分